

対象者

3回目のワクチン接種から5か月が経過した

- ① 60歳以上の人
- ② 18歳以上で基礎疾患を有する人、その他重症化リスクが高いと医師が認める人

※対象者は、現時点の科学的見地によるものです。

基礎疾患とは

- 慢性の呼吸器の病気、心臓病（高血圧を含む）、腎臓病、肝臓病（肝硬変など）
- インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病または他の病気を併発している糖尿病
- 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く）
- 免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む）
- ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害など）
- 染色体異常
- 重症心身障害（重度の肢体不自由と、重度の知的障害とが重複した状態）
- 睡眠時無呼吸症候群
- 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、

または自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や、知的障害（療育手帳を所持している）場合）

※ 精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳を所持している人については、通院または入院をしていない場合も、基礎疾患のある人に該当します。

- 18歳以上60歳未満であるが、BMIが30以上である
- 18歳以上60歳未満であるが、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師に認められた人

チェック

普段から医療機関を受診している人や相談できる医療機関をお持ちの方は、接種の対象者として該当するか事前に確認してください。



予約・日程

町から、4回目接種の対象者に、接種券と案内を郵送します。接種を希望する人は、電話、WEB、LINEから予約してください。詳しい予約方法は、町から郵送される案内をご確認ください。



接種日程

- 6～7月上旬 高齢者施設など入所者
- 7月以降 60歳以上の人・18歳以上で基礎疾患などがある人



昨年未から、感染力が強いオミクロンなどの変異株が見られ、収束が見えない状況が続いています。有効な対策として期待される4回目ワクチン接種について、概要や今後の見通しをお知らせします。

4回目接種が始まります

新型コロナウイルス感染症対策

第27回

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから約2年半。現在は、感染力が強いオミクロンの変異株による感染が全国で広がり、収束の見通しがつかない状況が続いています。町では、国や県の方針に基づき、重症化防止の観点から4回目の接種を実施します。

■ ワクチンの種類と接種の効果  
1～3回目接種と同じく、ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチンを使用します。4回目の接種をすることにより、高い重症化予防効果が得られます。

■ 副反応  
1～3回目接種と同じように、注射した部分の強い痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢などの症状が出る場合があります。このような症状の大部分は、接種の翌日をピークに現れる場合が多いですが、数日以内に回復します。

■ 1～3回目未接種の人  
ワクチン未接種の人でも引き続き接種可能です。予約の上、接種してください。予約方法が分からない、接種券を紛失したなどの場合は、健康福祉課（☎582-11133）まで連絡してください。

広告